

# 〔海況概要〕 (平成30年8月16日～8月22日)

今週の本県近海の表面水温は、26～29℃台を示し、やや低い水温でした。

# 〔漁況概要〕 (平成30年8月16日～8月22日)

- 中小型まき網——西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の80% (前年を下回った)。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の50% (前年並み)。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週並み (前年並み)。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり21トンの水揚げ (前年を下回った)。
- イカ釣——ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり138kgの水揚げで、前週の4.5倍 (前年を上回った)。壱岐勝本地区では1日当たり6.4トンの水揚げで、前週の2.6倍 (前年を上回った)。
- 定置網——北松生月地区では、漁が再開され、シイラなどが1日1統当たり約1.8トンの水揚げ。対馬西岸地区では、アジなどが1日1統当たり334kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり185kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり24kgの水揚げ (前年を上回った)。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり14kgの水揚げで、前週の41% (前年を下回った)。

# 〔日本海スルメイカ情報〕

今期 (8/9～8/20) 12日間の沖合イカ釣り船、船凍船の赤イカ漁は8月第1週で終了。日本海 (礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島) へ出漁した。

沿岸イカ釣り (氷蔵船) は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖 (武蔵堆周辺海区) にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣船 6日延41隻入港、総計1,781箱、1航海最高160箱、平均43.4箱、ケンサキ (2立～4立入) 1,781箱。 (漁業情報サービスセンターより)

# 〔海面水温情報〕

MGDSST (人工衛星水温) [気象庁発表] より

平成30年 8月16日～平成30年 8月22日の平均水温  
 ※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋。

	水温	前週差	平年差
対馬東	27.4 °C	-0.7 °C	-0.9 °C
五島西沖	28.5 °C	-0.2 °C	-0.6 °C
五島灘	28.1 °C	-0.2 °C	-0.6 °C

